

精神保健福祉の、一層の向上を目指して。

当連盟は、昭和28年に8団体が参加し「日本精神衛生連盟」として創立されました。その後、昭和45年には社団法人として正式に認可され、昭和61年には「社団法人 日本精神保健連盟」、さらに平成9年に「社団法人 日本精神保健福祉連盟」と改称し、平成24年4月に、日本精神保健福祉連盟は社団法人から公益社団法人に移行しました。現在、11団体が加盟しております。公益社団法人として、「日本における精神保健福祉団体との連絡を密にし、その協力により、精神保健福祉の向上をはかること」を目的として事業を行っています。具体的な事業内容は、昭和28年連盟結成当時より精神保健福祉に関する正しい知識を普及させて、ノーマライゼーションの実現を目指す、という一貫した目的を持って開催され、現在まで引き継がれている精神衛生全国大会（現、精神保健福祉全国大会）の開催および精神保健福祉事業功労者に対して厚生労働大臣表彰等の表彰を行っています。

また、昭和49年から「広報誌」を年1回発行し、平成8年からは「連盟だより」を刊行し、現在は年3回発行しています。

さらに、平成11年から精神障害者のスポーツ振興に力を注いでおり、精神障がい者におけるバレーボール、フットサル、バスケットボール、卓球等のスポーツ推進事業に取り組んでいるところであります。今後とも、当連盟は、公益目的事業を行う法人運営の重要性に鑑み、更なる精神障害者の精神保健福祉の向上及び普及啓発に尽力してまいりたい所存であります。皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

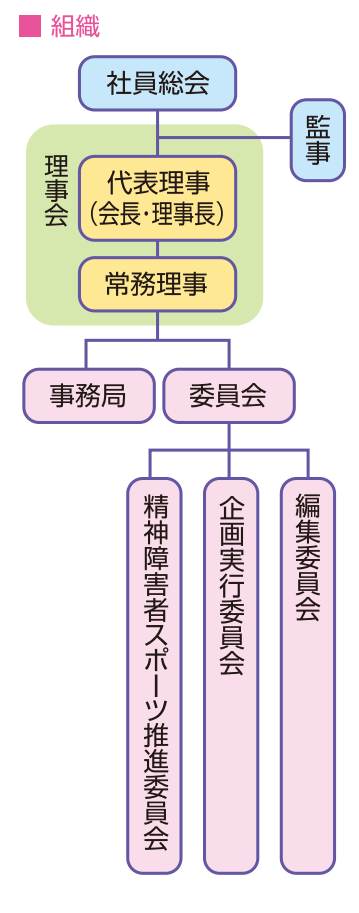
■ 連盟の目的及び事業内容

当連盟は、日本における精神保健福祉団体との連絡を密にし、その協力により、精神保健福祉の向上をはかることを目的として次の事業を実施しています。

- ① 精神保健福祉に関する調査研究並びに資料の収集及び情報の交換
- ② 精神障害者スポーツの振興事業
- ③ 精神保健福祉全国大会の開催及び精神保健福祉事業功労者の表彰
- ④ 精神保健福祉に関する広報
- ⑤ 世界精神保健連盟との提携

■ 連盟の概要

名称	公益社団法人 日本精神保健福祉連盟
代表者	会長 鮫島 健（公益社団法人日本精神科病院協会名誉会長） 理事長 鹿島 晴雄（国際医療福祉大学大学院教授 前慶応大学医学部教授）
所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目15番14号
会員数	正会員11（団体） 賛助会員193（団体） 48（個人）
歴史	1953年 日本精神衛生連盟創立（8団体の長による話し合い） 1970年 社団法人認可 1986年 社団法人 日本精神保健連盟 と改称 1997年 社団法人 日本精神保健福祉連盟 と改称



① 精神保健福祉に関する調査研究

■ 業務の概要

① 精神保健福祉に関する調査研究

当連盟に設置されている「企画実行委員会」を中心に、厚生労働省等から助成を受けて、精神保健福祉に関する調査を実施し、手法やノウハウの研究を行っている。その際、必要により外部からの専門家を含めワークグループを編成し、より専門性の高い調査研究を目指している。

- 厚生労働省（障害者総合福祉推進事業）

② 精神障がい者スポーツの振興

「精神障害者スポーツ推進委員会」が設置されており、連盟構成団体以外に、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、日本スポーツ精神医学会、各都道府県主管課と連携し、全国障害者スポーツ大会へ参加するため、当連盟が主催者として精神障害者バレーボール競技ブロック地区予選会（北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州）6ブロック大会を開催実施している。また、近年では、精神障がい者フットサル、バスケットボール、個人競技の卓球、なども推進をしている。

精神障害者スポーツに関する参加資格や障がいレベル判定の原則的な考え方を協議する為の委員会を開催し、普及活動として、報告書作成、学会・研究会などでの発表を行う。精神障害者スポーツの国際化を促進するため海外交流や国際大会を開催する。

- 平成23年 3月 精神障害者フットサルチームをイタリアに派遣し、親善競技を実施。
- 平成23年 12月 精神衛生の啓発・普及に貢献された個人ならびに団体を賞する土居健郎記念賞を「精神障害者スポーツ推進委員会」が受賞
- 平成25年 10月 精神障害者スポーツの国際連携会議、シンポジウムの開催
- 平成28年 2月 第1回ソーシャルフットボール国際大会・第2回精神障がい者スポーツ国際会議開催

③ 精神保健福祉全国大会の開催及び精神保健福祉事業功労者の表彰

当連盟は、毎年1回厚生労働省と共に精神保健福祉全国大会を実施している。本大会は、精神保健福祉に賛同する人々が集まり、誰でも参加できる大会である。昭和28年に開催した第1回大会以来60有余年、精神保健福祉に関する正しい知識の普及を図るとともに、ノーマライゼーションの実現に向けて極めて重要な「普及啓発」を推進する大きなイベントとして毎年開催されており、益々その意義が高まってきている。

全国大会の内容は下記である。

- 記念式典（表彰）
- アトラクション
- 記念講演
- シンポジウム

④ 精神保健福祉に関する広報

当連盟は、「広報誌」を年1回、「連盟だより」を年3回発行し、精神保健福祉団体等に配布している。また、精神保健福祉全国大会において関係者及び一般の参加者に配布するなど、精神保健福祉に関する普及啓発並びに連盟の活動状況の周知等に努めている。また、HPにおいても適時情報提供を行っている。

- 出版物の企画・編集、作成・配布

